



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 118 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail./honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

令和6年度から「森林環境税」が始まり、住民税に1人年額1,000円が上乗せされることとなります。その年総額は600億円程で、日本の森林整備などに活用されることとなります。

しかし4月1日前後の報道をみたところ、森林環境税に関する内容は値上げラッシュの話題に押されてか、ほとんど見かけませんでした。森林・林業にかかわっていない知人に話してみても「なにそれ!いつの間に増税?」という返事ばかり。平成30年度に決まっていたのですが、まだまだ森林問題に関する認知度の課題は多いようで…

(もりみの)

愛知県民の森での活動について

当会のフィールド活動の拠点として、穂の国みんなの森(設楽町、段戸国有林内)、穂の国石巻の森(豊橋市、豊橋国有林内)、ウッドパーク平尾(豊川市)での活動については本誌で定期的に掲載していますが、忘れてはいけないフィールドがもう一つあります。

日本の「水源の森百選」に選ばれている愛知県民の森(新城市)です。愛知県と県有林の利活用協定を締結して平成18年度から活動を始めました。協定期間は3年間で、令和5年度末で6回目の協定が終了。令和6年度から7回目の協定を締結して19年目の活動がスタートすることになりました。実は、穂の国みんなの森に次いで活動期間が長いフィールドになります。

愛知県民の森での活動を振り返ると活動初期は、プリティフォレストクラブの活動拠点、市民向けの自然観察会、小学



▲ 自然観察会の様子



▲ 野外体験授業の様子

5年生を対象とした野外体験授業と多岐に渡りました。その様子の一部は、本誌Vol.53で紹介したとおりです。これらの多様な活動が評価され、第1回水源の森百選整備保全活動コンクール(2009年)で「林野庁長官賞」を受賞しました(Vol.73参照)。

活動が6年目になると当会の事業全体の変化に応じてフィールドの役割が変わっていきました。市民向けの森林作業体験イベントは継続して実施していましたが、団体企業会員や関係機関の森づくり活動(CSR活動)の場としての利活用の割合が増えていきました。

また、愛知県民の森は会議室、宿泊棟など施設が充実していることから、森林空間を活用した企業向けの社員研修などの試みも実施しました(Vol.100参照)。

今後は会員や関係団体に限定せず、SDGsの一環として初心者向けの森づくり、環境学習に取り組む企業、団体などを受け入れながら森林整備活動に取り組んでいきます。

少人数でも大歓迎です。詳しくは、当会事務局までお気軽にお問合せください。



▲ 団体企業会員による
森づくりの様子

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その28
「鳳来寺山」
中西 正

秋の鳳来寺山を歩く

2013.10.20

この時期は秋真っ盛りで、本来なら鳳来寺山は紅葉見学の人で混むシーズンである。しかし、この日は天候が悪く、人出が少なくゆっくり観察できた。鳳来寺山自然科学博物館は自然系では愛知県で最も早くできた博物館である。1961年、鳳来町は予算規模はそれほど大きくなかっただろうに、鉄筋の博物館を建てた。これには地元の林業家 丸山喜兵衛氏の多額の支援があった。現在はエレベーターやスロープも用意されている。2階はジオラマ中心の鳳来寺山の地質やそこに分布する植物、動物の展示がしてある。この階には特別展示の部屋があり、年に4回ほど展示替えを行っている。3階は標本を中心にした個別展示を行っている。ジオラマでは実際の剥製が多く使われている。



▲ 鳳来寺山自然科学博物館にて

解説を館長自ら行ってくださることも多く、手作り感が強い博物館だ。今回も加藤館長の説明を受けて博物館の見学をした。本日の講師の山田由乃先生は旧鳳来町在住で、この博物館を拠点に調査活動をしている。

鳳来寺山の特徴は長い石段とその両脇にあるスギ並木だろう。1425段の石段ははじめのうちは緩やかだが、本堂に着く手前ではかなり急になる。その石も濡れていると滑りやすいので特に気をつけなければいけない。段と段の間に水がたまっている場所もある。この石段の両側はスギの大木が並木になっている。この途中には「傘杉」と名付けられた日本一のスギがある。並木を成すスギは立派だが、この傘杉は別格である。本堂から奥ノ院に行く途中には「6本杉」と言って、この傘杉に相当する大木が6本生えていた場所がある。今はその切り株が残るだけであるが、それらが生きていた時はさぞ壮観だったことだろう。スギの生長の様子を見ると、この参道が通る谷はスギが育つのに適した環境のようだ。



▲ 鳳来寺山のスギ並木

この谷には暖地性植物が生えており、シダ植物の種類やその量が多いのも特徴だ。西向きの谷で湿気が多く、やや暗いためだろうか。岩についているシシラン、サジランは細い葉で単純な形だ。マメズタはもっと単純で丸くて小さい。地面の石に着くのがイワヒトデ、クリハラン、これらの葉は厚く感じる。大きな葉を一方向にそろえて出しているのがクルマシダやミヤマコギリシダ、キジノオシダ。株状に葉を広げるのがオクマワラビ。ここはシダの谷と言ってもいいくらいだ。



▲ キジノオシダ

仁王門を過ぎた辺りに馬の背岩に上るコースがある。この道は石段ではなく、土の道で急坂になっている。やや乾燥した環境で、参道の谷とは異なった自然が見られる。馬の背は岩が露出した尾根で、ここに行けば岩場の自然が残っている。今回は雨天ということと、台風



▲ 山田先生(右)による説明

で道が荒れているということから残念ながらこちらには行かなかった。穂の国森づくりの会の森田事務局長は雨男と自称している。しかし、今までに観察会で雨が降ったことは少ない。とすると、今回は面目躍如といったところか。(この地区においては、2006.5.28にも同様のテーマで観察会を行った)



会員さんの森づくり探訪

シリーズ Part22

株式会社クライムさん

株式会社クライムさん(本社:豊橋市下地町)は、1975年にオートボックスのフランチャイズに加盟し、三河地区の8店舗のオートボックスを運営している会社です。

交通安全啓発や各種就労支援など幅広く社会貢献活動に取り組まれています。中でもCO₂を排出する自動車や関連商品を取り扱うことから店舗内の緑化、苗木の無償配布も行われています。

当会との関係は、飲料自動販売機の売り上げの一部が森づくりの会に寄付される「森づくりベンダー」の設置のご協力から始まりました。

令和2年度からその寄付金を活用して、木育活動(木工教室)をオートボックス各店舗や東三河ふるさと公園(豊川市)、豊橋市こども未来館ここにこ(豊橋市)などで共同開催しています。今後も開催予定なので、本誌や当会ホームページなどでご案内します。

また、木育活動だけではなく、ウッドパーク平尾活動にも社員とご家族の方々に参加いただくなど、森づくり

活動にも積極的に取り組まれています。

これからもSDGsの理念を共有しながら木育・森づくり活動に取り組んでいければと思っています。よろしくお願いいたします!



▲木工教室の様子
(オートボックスとよはし店内)



▲薪用の丸太切り体験
(ウッドパーク平尾活動)

ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～ (その7)

「体形や変色も多様」

これまで紹介してきたように、トンボは羽化してから成熟するまで体色や翅の色が変化する種が多いです。

羽化から成熟するまでの体色の変化で有名なのが、街中でもよく見かけるシオカラトンボのオスです。羽化して未成熟の時はメスと同じ麦わら模様(写真1)。成熟すると腹部の2/3程度は白粉を吹いて灰白色に変色します。本コーナーのその1で紹介したシオヤトンボも同様に白粉を吹いて腹部全体が灰白色に変色します。

ウッドパーク平尾で、独特の体形と変色をするトンボはハラビロトンボです。名前のごとく腹部の幅が長さ比べて広いのが特徴です。特にメスは際立って幅広です(写真2)。

オスは羽化してからの体色の変化が特徴的です。羽化して間もないころは、黄金色っぽい体色で(写真3)、日がたつにつれて腹部の裏以外が真っ黒に変色していきます(写真4)。成熟すると腹部が青白い粉をおびて、青灰色に変色します(写真5)。

体長は3~4cm程度で小さく、他の虫とよく見間違えてしまいますが、ウッドパーク平尾のピオトープエリアの主で、個体数が非常に多いです。また、4月下旬ごろから8月中旬ごろまで長期間観察することができるのも特徴です。

ウッドパーク平尾を整備して、もっとも個体数が増えた種の筆頭格です。(もりみの)



写真1

▲麦わら模様のシオカラトンボ♀



写真2

▲ハラビロトンボ♀



写真3

▲未成熟のハラビロトンボ♂



写真4

▲成熟中のハラビロトンボ♂



写真5

▲成熟したハラビロトンボ♂

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

定期開催しています!

「穂の国シュタムティッシュ」

● 毎月第2金曜日 (変更の場合もあります)

令和6年：6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、
10月11日、11月8日、12月13日

時間：午後6時半から午後8時半

場所：「ピアホール独逸」豊橋市大橋通 3-144

対象：どなたでも

事前申込：不要

会費：実費 (3,500 円程度)



【参加について】

森づくり、アウトドア活動、スポーツなど、自然が好き
な方々であれば誰でも参加可能です。自分の活動の告
知や仲間集め、こんな企画をやってみたいとか、単にお
酒が飲みたいだけでもご参加OK。特に議題は決める
ことなく、お酒を酌み交わしながら今後の活動のヒント
がお互いに得られればという、ゆるい会です。

定期活動やっています!

「ウッドパーク平尾」

● 毎月第3土曜日 (変更の場合もあります)

令和6年：6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、
10月19日、11月16日、12月21日

集合：午前10時にウッドパーク平尾

※初参加の方は、事務局へご連絡ください。

詳しい場所などをお知らせ致します。

終了：午前11時半頃(その後は自由解散です)

対象：個人会員(家族でご参加歓迎)、団体企業会員

作業内容：草刈り、ピオトープ整備、生物観察、
健康づくり講座、ピザ焼き体験など

持ち物：長靴、軍手、飲料、タオルなど

その他：雨天中止の場合は、前日の11時の天気予報
で決定しご連絡します。ご参加の方は事前
に事務局にご連絡ください。

企業の森づくり応援します!

森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくりや作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した社員研修や環境教室
- 愛知県産の木材を活用したイベント等

様々なご要望に応じて応援させていただきます。
穂の国森づくりの会事務局へお気軽にお問合せください。
Tel.0532-55-5272 honokuni@honokuni.org



木材は究極のエコ資材であり、また
SDGsにもかなう素晴らしい素材です。
この木材を扱うことに誇りを持って活
動しています。

豊橋木材商工協同組合



白衣・事務服・作業服
佐々木繊維株式会社

〒440-0872 愛知県豊橋市前田中町 2-14
TEL 0532-53-4141 FAX 0532-53-2437

私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなた
でも会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000 円/団体企業会員：1口・12,000 円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org